

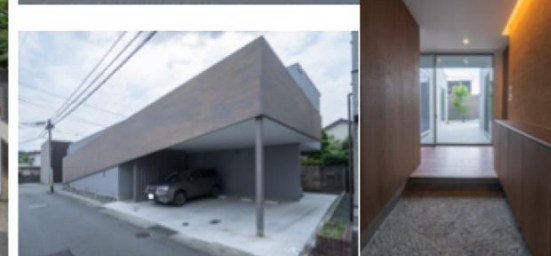
モク活×続活



杉材を線材として表現



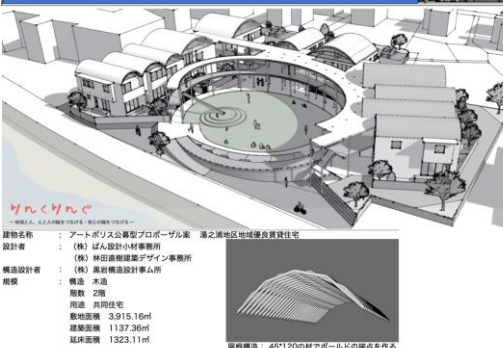
9mスパンを一般製材で表現



CLTの活用の表現



1st 木造活用の実例紹介



建物名称 : アートボリス公事型プロポーザル案 滝之地区地域優良賃貸住宅
 設計者 : (株) ばん設計小村事務所
 (株) 林田建築設計事務所
 構造設計者 : (株) 高松構造設計事務所
 規模 : 木造
 階数 : 2階
 用途 : 共同住宅
 敷地面積 : 3,915.16㎡
 建築面積 : 1,137.36㎡
 延床面積 : 1,323.11㎡



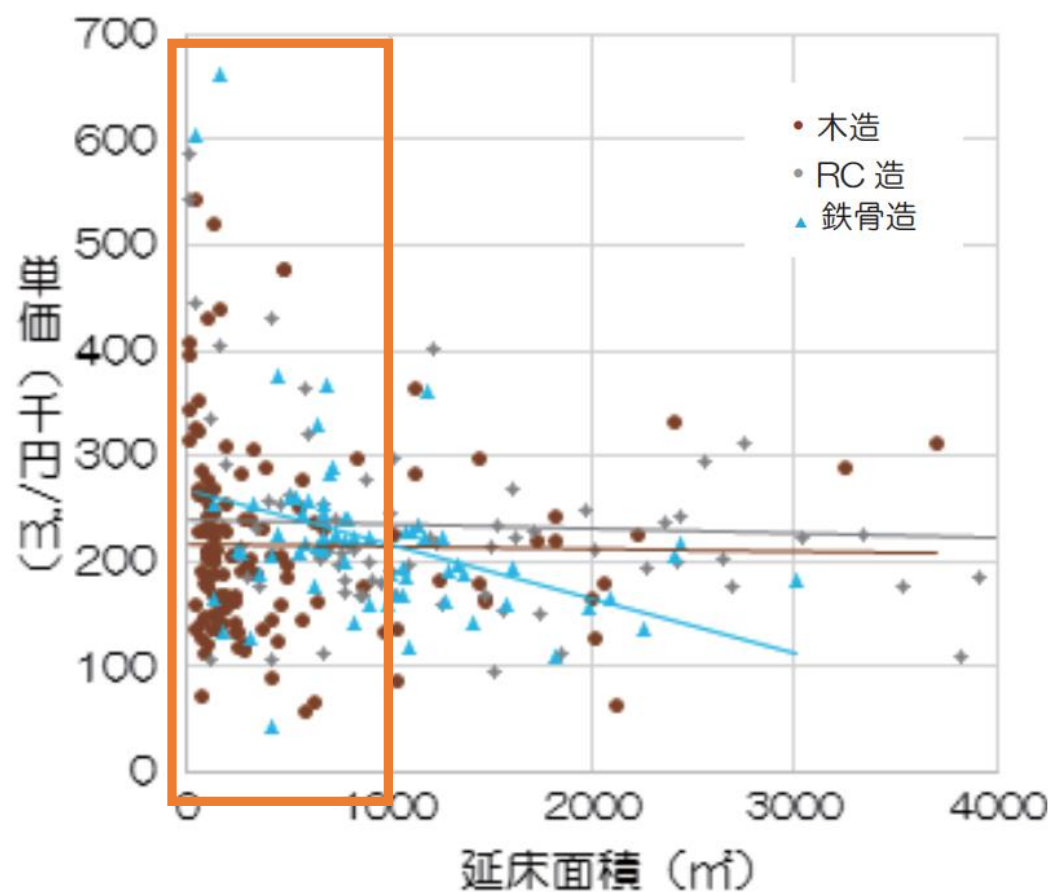
重ね透かし梁
挟み梁
の提案

1 st

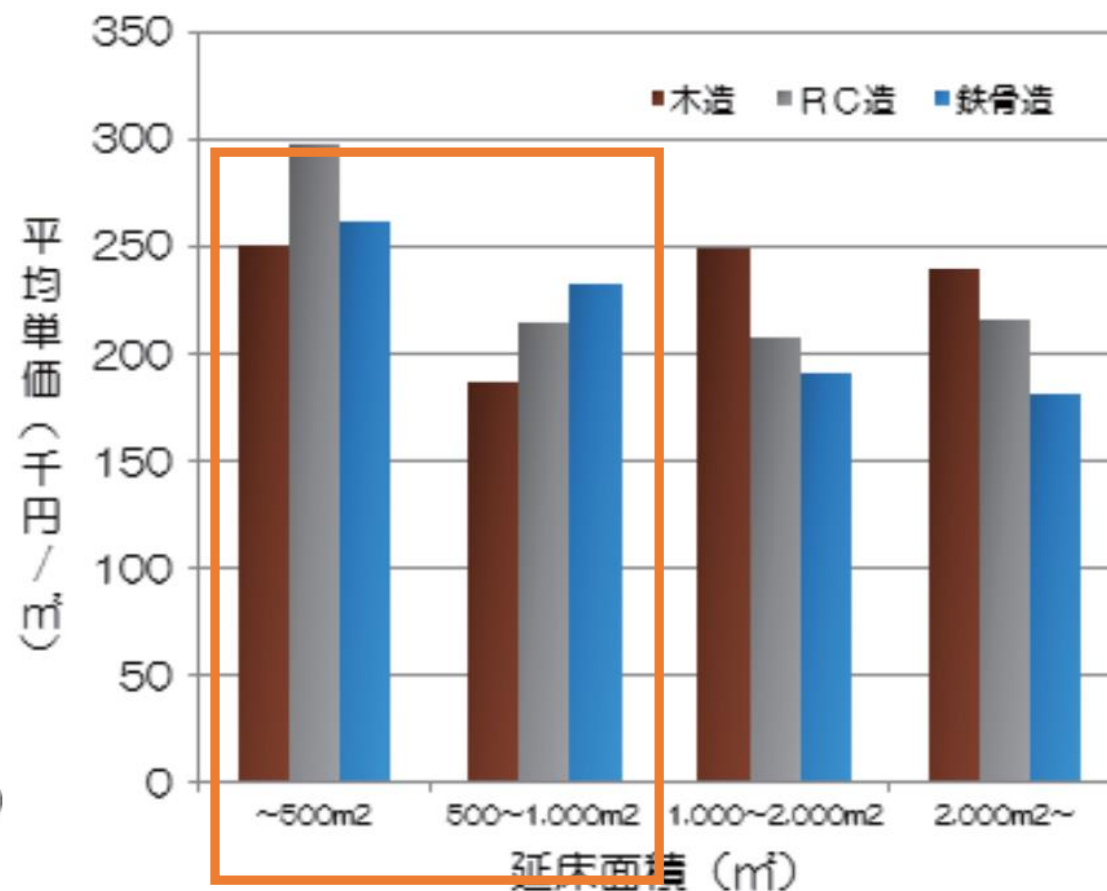
規模とコストの関係

防耐火の関係もあり1000m2未満の物件で木造にはコストメリットがあり、この範囲を木造化する事が木造促進の早道

規模別建設単価



規模別平均建設単価



※データはくまもと県産木材による木造建築物普及の手引きから引用

プレカット各社 加工機器等の使用状況

会社名	規模 月間加工坪数	使用加工機械	使用CAD
(株) 田中材木店	約1000坪	HEIAN CORPORATION	ネットイーグル Xstar
肥後木材 (株)	約3000坪	HEIAN CORPORATION	ネットイーグル Xstar
協同組合 熊本ランベックス	約10000坪	HEIAN CORPORATION	ネットイーグル Xstar

2 nd

プレカット
事業の現状

プレカット各社 加工可能形状と使用可能金物

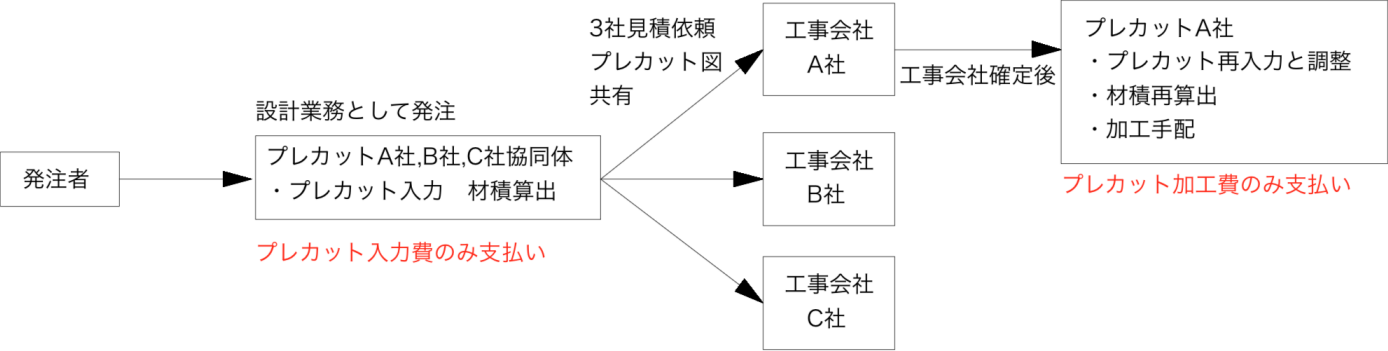
会社名	平柱加工	太鼓梁加工	合掌	トラス	ホゾパイプ、ドリフトピン使用可能金物
(株) 田中材木店	○	×	○	○	テックワン、HSS
肥後木材 (株)	○	○	○	○	テックワン、SSマルチ、ディラージョイン
協同組合 熊本ランベックス	○	×	○	○	テックワン、HSS、プレセッター (△)

プレカット会社間での相互協力が可能

プレカット入力の重複入力を避けるための提案

プレカット入力者の評価軸の提案
(木材利用有料施設コンクルールに表彰対象として入れる事は可能か?)

提案：工事会社Aが工事受注の場合の流れ あくまで非住宅木造の想定



※課題 プレカット入力責任の所在と入れ直しの可能性

1st、2ndを経験してからの成果

1.木材関係者との繋がりが広がった

2.日常の設計活動だけでは得られない知識が増えた

3.木の良さを伝えたいという気持ちが増した

黒川温泉 こうの湯 客室改修 2024.07竣工

・ 穴井木材工場 穴井さんからの木材提供と活用の提案

・ 南小国町地域おこし協力隊 三桝さんのショッポットでの加工



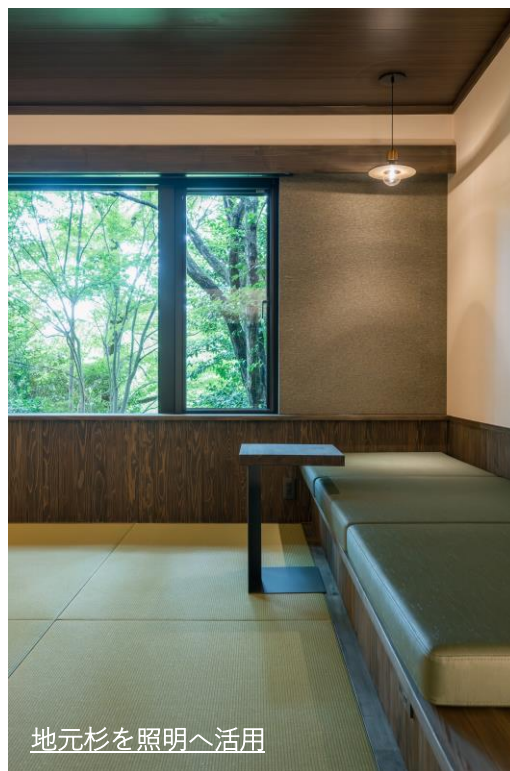
改修前客室

3 rd

木材関係者
とのコラボ



ショッポットで板材に表情をつける



地元杉を照明へ活用



ショッポットで板材に表情をつける





3rd 木材活用提案

エルパティオ牧場宿泊棟新築
2024.05竣工

挟み工法にてプレカットできない傾斜や角度の施工に対応

構造設計：黒岩構造設計事務所



3 rd

木材活用提案

挟み工法で軽快さを表現
杉皮で素材感を表現

構造設計：建築食堂



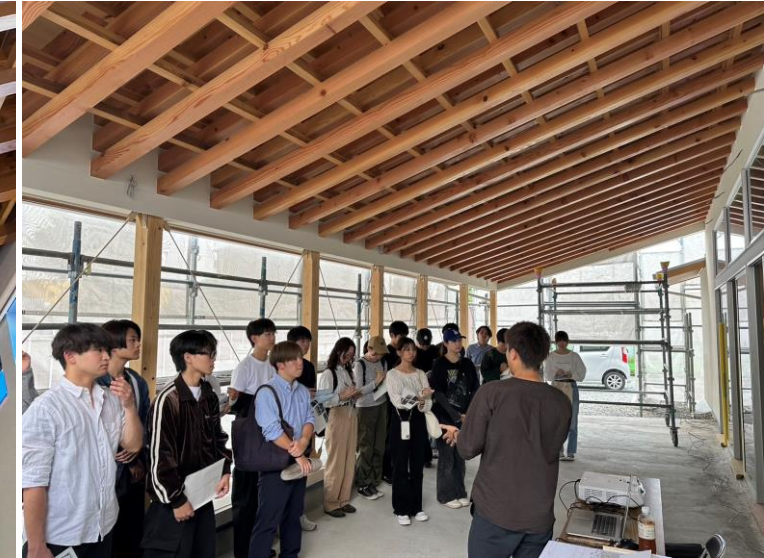
3 rd

木材活用提案

小規模葬儀場への木造提案：木造コンビニで提案した重ね透かし梁を採用

構造設計：黒岩構造設計事務所

某家族葬の葬儀場2024 10末竣工予定



大学生むけ現場説明会開催



3 rd

木材活用提案

小規模葬儀場への木造提案：木造コンビニで提案した重ね透かし梁を採用

構造設計：黒岩構造設計事務所



3 rd

相良村川辺川魅力想像事業・交流拠点施設整備設計
プロポーザル案

木材活用提案

設計 : KAYアーキテクツ+林田直樹建築デザイン事務所
構造設計 : 建築食堂



丸太材をそのまま使用した構造体
方杖と真ん中のスパイラル状の構造で
地震力と風圧力を負担

3rd

木の魅力を伝える

自社でクラファンで資金集めを行い木工ワークショップを開催



小学生

- 木の貯金箱
- ブックスタンド
- ペンスタンド

この中から1選んで作れます！
完成した作品は持ち帰りいただけます。

専門学生・大学生

- 屋外テーブル
- 屋外ベンチ

手分けして支那に家で使用する
テーブルとベンチを作れます！



モノづくりの楽しさに触れるワークショッ…
<https://camp-fire.jp>

プロジェクトを掲載するには プロジェクトをさがす

子どもの夏休みの宿題に！

夏休みの木工ワークショップイベント開催！

親子でモノづくりに挑戦
子どもや学生に
モノづくりの楽しさを
伝えたい

熊本県阿蘇市にて開催

ご支援の程よろしくお願いたします。

モノづくりの楽しさに触れるワーク
ショップを開催したい！

hayashida611 まちづくり・地域活性化
熊本県

現在の支援総額
358,000円

119%達成 終了

目標金額300,000円 支援者数39人

参加費無料！

ご予約はこちら



8/24 sat 10:00~13:00
(集合時間9:45)

会場：道の駅波野「神楽苑」イベントデッキ
持ち物：完成品を持ち帰るための袋、軍手、
タオル、水筒

※軽作業ができる服装、スニーカーでお越しください。
※雨天時には決行いたしますが、雨風の強い台風時には中止とさせていただきます。

お問合せ
林田直樹建築デザイン事務所 担当/大塚

〒861-4125 熊本県熊本市南区奥古閑町1747-2
TEL/096-342-6024
FAX/096-342-6025
mail/kota@nh-hayashida.com

木を使うとは

どんな建築も、その立地する社会と環境において、長くその価値を維持できるように、きちんと設計し、きちんとつくことは大切です。また将来の社会変化に対し、修繕や改修、用途の変更等により、あらたな価値ある建築に生まれ変わることができるよう、建築を構成する、あらゆる部材について劣化更新に配慮し、材料を選び、ディテールを組み立て、きちんと空間をつくります。

きちんと
つくる

だいに
つかう

きちんとつくられた建築は、だいにつかわれなければなりません。月日を経て各部が劣化し、機能が十分でなくなることは、どんな建築であっても起こりうること。新しい建築にメンテナンスマニュアルをつけるように、既存の建築にも、改修の際にはさらなる未来にその建築を使い継いでいく人たちのため、仕様書を復元し、マニュアルを再整備するなど、だいにつかいつづけるための取り決めるを考えることはとても大切です。

ちいき
をつなぐ

すてず
に
いかす

建築ひとつひとつを大切にすることだけでなく、いくつかの建築が集まってできるまちのことも考えます。そしてまちとまちが、ひととひとが、つながっていくこともきちんと理解し、そのつながりを大切にします。ひととひとがまちを通してつながっていくためには、みんなで一緒にまちのことを考えることがとても大切です。そのために、小さな頃から建築やまちのことを考える習慣を持たせる環境づくりが必要です。

建築をつくり、解体し、廃棄する際には、多くのエネルギーがつかわれます。一旦つくられた建築は、できるだけ丁寧に長く使用し、壊す際には、使用可能な部材や材料を再利用し、それができない場合には、再資源化することが望まれます。すてずにいかすことを考えることは、きちんとつくり、だいにつかうことの意味を改めて考える契機となり、環境にやさしいだけでなく、建築を通じて、人々の思いや文化をつないでいくことにもつながります。

ご静聴ありがとうございました

